

地区社協だより

第44号

発行日 令和5年7月15日
 発行 西諫早小学校区
 社会福祉協議会
 発行責任者 鉄本 浩一郎
 (電) 090-1515-6683

我が町の元気な高齢者

中隊長の「一言」

小西 秋吉



今ここに私が生きている事について書き、それの方に感謝申し上げたい

中尾町1区 小西秋吉さんは8月で100歳になられましたので紹介します。

奥様を亡くされてからは一人暮らしをされています。

中尾町1区のサロンには毎回毎回顔を出しておられます。自宅から歩いてみえ仲間と笑顔で体を動かしてたのしんでおられます。日常生活は自立されています。

私達のお手本でメンバーみんなの目標であり誇りです。

当時の釜山には関東軍の大部分が南方への移動のために、船を待つていました。私達の部隊を輸送する船もやがて入って来ました。しかし船舶の数が少なく部隊の全員が乗船出来ず、中隊の約半数80名が乗船することとなり、私も当初は乗船する

になつていましたが、何の理由か分かりませんが、中隊長が、私と外2名を指名して一言「君達は次の船で」と申され、残ることになりました。しかし次の輸送船は中々来ず、遂に20年2月まで待っていましたが、内地転属となり、鹿児島大崎に移動しました。この様なことで現在まで命が授かったのです。

比島に渡った戦友80名は敗戦となり復員してきました戦友は4名でした。これは私の隣りの町の方がこの4名の中の一人でしたので、比島での戦闘の厳しさを伝えてくれました。多くの戦友を失った私としては現役兵として現在の中国の内モンゴル地区のハイラルに入隊しました。其の後19年11月には、南万戦線に移動のために部隊はハイラルを出発し、現韓国の釜山に到着し、比島への輸送船の入ってくるのを待ちました。

戦死せし友皆敗戦日を知らず

です。遺骨もなき戦友ばかりです。この様な事で生きている私、命を

大切にと、毎日歩くこと、又色々学んで過ごしています。いつ死んでもよいのですが、いましばらく体を鍛えて、此の世を見ていたいと思います。

拙文ですが、私の戦中・戦後のことは。今は中尾町のいきいきサロンに月2回位出席させてもらっています。皆様から励まされています。

「つべしミュージックベルクラブ」と共に歩んで

中野 由理

社会福祉法人 諫早市手をつなぐ育成会

接した利便性の高い所にあります。

日常生活や福祉的就労の中で日々様々な訓練や作業に取り組んでおられる施設です。

平成11年に開設されましたが、この施設を造る時の親御さん方の苦労は並大抵ではなかつたと聞いています。

平成13年には、つくし学園、つくしの里、ライフステーションつくしの3施設から音楽好きなメンバーが集まり「つべしミュージックベルクラブ」が結成されています。私はここで21年間ボランティアとして

ミュージックベルの指導を行い、障害者芸術祭や小船越公民館祭りを通して地域との繋がりを深めるお手伝いをさせて頂いてきました。

つべしミュージックベルクラブの皆様と一緒に様々な違いを超えて同じ目標のもとに音楽を奏てる時、共に生きている喜びを感じます。

障害のある人と地域住民との交流を深め、互いに認め合い、尊重する「共生社会」の実現を目指してこれからも小さな歩みを続けていきたいと思っています。



運動会で成長したこと

6年1組 小川しゅんpei

ぼくは今年の運動会で、6年生として大きく成長したことが2つあります。1つ目は自分の仕事や役割をがんばったことです。自分だけでなく6年生全体で、競技の内容や走順について意見を出したり、応援の練習をするなど、積極的に行動することができました。

2つ目は、応援団長をしたことです。練習の時から全力で声を出し、声が枯れてもがんばりました。今までみんなに大勢の前で声を出した経験がなかつたため、とても緊張しましたが、やりきつたことで自分の自信になりました。

全力で取り組んだ運動会でしたが、結果は惜しくも3位でした。発表を聞いてとても悔しかつたし、反省も出てきました。もっと自分がみ

令和5年度 謙阜市立西諫早小学校

第48回運動会

大会テーマ
「西小伝説～最後まで一生懸命がんばるチーム西小～」



団長になつた運動会

6年3組 峰 澄真

今年もまた、5月28日、日曜日の運動

なんに声をかけてリレーの練習をしていれば、もっと応援団長として下級生に声をかけていれば、という後悔もあります。しかし、どの組もどの学年も必死に取り組んだ今年の運動会は間違いなく「西小伝説」を作ったと思います。運動会で学んだことを今後の学校生活に生かしていきます。

思い出に残る運動会

6年2組 寺井 一真

今年の運動会は、僕にとって最高の思い出に残る運動会となりました。

今年の黄組のテーマは「心ひとつに」でした。テーマを達成するためには、まずは応援の練習を頑張りました。朝の練習では、どの学年も一生懸命、応援を覚えようと頑張っていました。僕たち6年生もその姿を見て、もっと頑張ろうという気持ちになりました。その気持ちが、一つになつたから本番でも最高の応援ができました。それが、優勝にもつながつたと思っています。

運動会で、黄組の団結を感じることができました。黄組の団長で本当に良かったです。黄組の団結力の強さを、色々なところで見せていくたいと思います。

会で青組の団長になりますと悔ります。しかし、どの組もどこの学年も必死に取り組んだ今年の運動会は間違いなく「西小伝説」を作ったと思います。運動会で学んだことを今後の学校生活に生かしていきます。



1年3組 たまり そうき
ぼくは、たまいで1ねん3くみがかつたのが、うれしかつたです。ぼくもたまをたくさんなげました。いくつはいっただかわからぬけど、たのしかつたです。

1年1組 かたやま あいり
うんどうかいをがんばりました。いちばんがんばったのは、だんすです。じょうずに、おどれました。かけっこでは、1ばんになれないけど、さじでながずにはありました。

1年2組 とみやま こはる
れんしゅうではかけっこで1ばんになれなかつたけどほんばんで1ばんになれてうれしかつたです。だんすでは、さいごまでたのしくおどることができました。さぐみもゆうしょうできうれしいうんどうかいになりました。

おおきなしえでおえんしました。
うんどうかいがたのしかつたです。

みんながつながる 笑顔があふれる

諫早市立西諫早小学校

校長 菅 康弘

「地域のみなさん。よろしくお願ひします。」

4月12日、新1年生と下校見守りの地域の方々との対面式の一幕です。入学して2日目の子どもたちの、元気で可愛らしい声が玄関口に響きました。小雨模様の一日でしたが、今年度も「下校見守り」のスタートとして、子どもたちと見守りに来ていただきた民生委員をはじめとする見守りボランティアの皆様と顔合わせを行いましたが、たくさんの方々が集まつてくださいました。これから毎月12日を基本に、「見守りボランティア」として1年生に付き添い、下校を見守つてくださいます。学童に行く子が多くなった昨今、時には子どもたちより多いくらいの方々が、下校時の見守りの



ために協力していく 것입니다。

さて、今年は、3年間続いた「コロナ禍」もようやく収束が見えています。

4月8日から類伝染病に移行し、様々な制限が解除されてきています。身体の一部になつた感があつたマスクについても、徐々に外して生活する人が増えてきました。

学校でも、少しずつですが、マスクを外して生活する子が増えています。それとともに、素の表情が見えるようになってきました。それに

より、お互いの距離も、少しずつ縮まってくるのではないかと期待して

いるところです。

西諫早小学校では、「コロナ禍の中」にあっても、「なるべく体験の機会を奪わない」。できる形を考えて実施する」という方針のもと、地域の皆様の協力を得ながら、いろんな活動を進めてきました。例えば5年生の大きな活動である、「米作り体験」ですが、田植えから餅つきまで、滞りなく体験させることができました。また、木曜日放課後の「地域子ども教室」も、多くの指導者の協力を得て、楽しく活動を進めることができます。今年は、さらにいろんな活動に、連携・協働した取組ができると思い、令和5年度のスタートにあたって、どんな取組ができるか整理し、力を貸していただきたいことを、学校支援会議等でお願いしています。

新たな取組として、ミシン・ボラ

ンティア、裁縫のボランティアなど

の学習支援も始めました。工具を使

う際にも、お力を貸していただきた

いと思っています。また、「ひとり暮らしの集い」など、交流が制限さ

れていた事業についても、できる形

で復活させていきたいです。このよ

うに「コロナ禍で薄れていた「つながり」を結び直し、さらに強固なものにできるよう、取組を進めるのが、

今年度の重点的な取組になります。

この西諫早地区は、地域がしっかりと学校を支えてくださっています。

その根底には、「子どもたちのため」という地域の皆様の熱い思いです。

その思いを受け、めざすは「子ども

を核とした教育」「ミコニティ」の構築です。どうぞ、今年度もよろしく

お願い申し上げます。

北部地域包括支援センターより

生活支援コーディネーターが交代

生活支援コーディネーター 田浦 英子

こんにちは。これまで池が生活支援コーディネーターを担当しておりましたが、4月から田浦に交代となりました。地区協や自治会、老人クラブ、民生委員など各関係団体をはじめ地域の皆様には「語らん場」へのご参加、ご協力をいただき大変お世話になりました。引き続き、よろしくお願いいたします。

さて、生活支援コーディネーターは、高齢の方が慣れ親しんだ地域で

自分らしく暮らしつづけられるよう、地域のお困り事を把握したり、解決

できる方法がないか地域の方々と一緒に考えることを通して、支え合い

の体制づくりをお手伝いしています。

一番の役割は、地域の高齢者の

皆様の「思い」を地域の多様な活動

につなげることだと思っています。

の体制づくりをお手伝いしていま

す。一番の役割は、地域の高齢者の

皆様の「思い」を地域の多様な活動

につなげることだと思っています。

地区社協の研修会



令和5年6月9日に「役員・福祉協力員」の研修会が開かれました。

今回は「地域包括ケアの取り組みについて」諫早市地域包括ケア推進課の保健師・多久島亜那氏を講師に迎え、認知症の取り組みについて研修が開かれ、活発な質疑、意見交換が行われました。

事務局 中尾町自治会 会長 玉城 保美
本年、9月16日(土)・17日(日)の2日間にわたって、「第26回のんのこ諫早まつり」が開催されます。

今回は西諫早小学校区から中尾町、小船越町、馬渡町、貝津町の自治会の皆さん18名が参加されます。

9月の本番に向け、毎週土曜日に西諫早公民館において中尾

町の高美津子先生の指導のもと練習、頑張ります。

地区的皆さん、応援よろしくお願いします。



「NONOのんのこ諫早まつり」

市民ボランティア

認知症の方とご家族を地域で支え、認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らせる街作りを目指してオレンジカフェを開催しています。

●オレンジカフェ(認知症カフェ)とは

認知症の方やご家族、医療やケアの専門家、そして認知症が気になる人が、気軽に集まり、和やかな雰囲気のもと交流を楽しむ場所です。オランダでアルツハイマー・カフェとしてスタートしました。

●オレンジカフェの内容

カフェでは、脳トレいやケアの方法紹介、専門医による個別相談などを実施して、介護者の負担を軽減することともにコントなどで笑いをもたらし、心からほっとできる場を提供することを目指しています。

・開催日時

第1月曜日 13時～15時30分
第3木曜日 13時～15時30分

・開催場所

平山町公民館 謙早市平山町278-1

・参加費 300円 (ドーハー・お茶・菓子・果物)

・問合せ先

オレンジほっこりカフェ諫早

会長 長郷徳子

090-3738-1381

〈相談ごとのある時は〉

・北部地域包括支援センター

電話 25-7030

FAX 25-7035

095-823-4165

(マイローコ)

・高齢者専用相談ダイヤル

編 集 後 記



新型コロナも5類となり、以前の生活に戻りつつあります。
地区社協のいきいきサッコンなど地域の活動も活発に行われるようになります。今年度は地域の活動を取り材して広報に努めてまいります。

広報部